

令和 4 年度 (第18期) 事業報告

令和 4 年度 (第18期) 決算報告

令和 5 年度 (第19期) 事業計画

令和 5 年度 (第19期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

## 第 18 期 事 業 報 告

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育事業及び施設管理業務に取り組みました。

市民農園につきましては、田植えと草刈りは応募された方々にご参加いただき実施しましたが、その後、新型コロナウイルス感染拡大のため、その後の行事は中止としました。

船形地区においては、麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運営業務、新規就農支援事業、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運営業務等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

なお、令和 4 年 4 月 1 日から、本社を野田市木野崎農業構造改善センター内に移転しました。

### 1 江川地区の農業事業

#### (1) 水稻の生産

江川地区の水田については、圃場の均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

しかし、今年度も圃場の排水の浸透状況が悪く、一部で収穫を断念した状況でした。

今年度の総収穫量及び出荷米等の数量は次のとおりです。

品 種 名	J A 出荷米	一般販売	くず米	総収穫量
コシヒカリ	1 等 4,950kg 2 等 3,720kg	1,590kg	1,045kg	11,305kg

#### (2) 江川地区水田型市民農園

田植えを 4 月 24 日に、草取りを 6 月 5 日に実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大（第 7 波）の影響により、その後の行事は中止としました。

#### (3) 農業体験学習等協力

##### 1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

4 月 25 日に新型コロナウイルス感染防止対策を行い、福田第一小学校・第二小学校の生徒合同による田植えに協力しました。

その後も、稲の生育観察会や生物調査、稲刈りの体験学習にも協力しました。

##### 2) 地元中学校スペシャル・スタディ協力

福田中学校が 8 月 5 日と 11 月 12 日に開催した 2 年生の江川地区観察フィールドワーク（体験学習）に協力しました。

### 3) 職場体験学習協力

大正大学社会共生学部公共政策学科3年生1名の職場体験学習に協力しました。(10月3日から10月17日まで)

## 2 船形地区の農業事業

### (1) 農業生産調整事業

令和4年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション(ブロック2)及び固定団地併せて約62.3ヘクタールの水田を船形互助転作組合との協議により借地しました。

また、借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については令和5年2月28日まで借地しました。

なお、遊休農地(畑)1.1ヘクタールにも大麦を作付けしました。

### (2) 農業生産

#### 1) 麦栽培

麦については、大麦「カシマムギ」を約12.2ヘクタールに、小麦「さとのそら」を約44.8ヘクタールにそれぞれ播種し、令和4年5月から6月にかけて刈り取り作業を行った結果、収穫量は202.66トンでした。

収穫の状況については次のとおりです。

区 分		J A出荷		種子更新	くず麦	総収穫量
品 種	作付面積					
大 麦 (カシマムギ)	約 12.2ha	2 等	39.29t	0t	2.45t	41.74t
小 麦 (さとのそら)	約 44.8ha	1 等 2 等	119.00t 34.00t	0t	7.92t	160.92t
合 計	約 57.0ha		192.29t	0t	10.37t	202.66t

#### 参 考

##### ア ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.9ヘクタール

ブロック2 約57.1ヘクタール

ブロック3 約67.9ヘクタール

##### イ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ヘクタール

##### ウ 遊休農地面積 約1.1ヘクタール

### 2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを11.9ヘクタールに、サチユタカを13.8ヘクタールに、フクユタカ(固定団地含む)を12.3ヘクタールにそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤や殺菌剤、殺虫剤の散布、生育状況に合わせた管理を行いました。

収穫は、タチナガハを１１月１１日から１１月１８日まで、サチユタカを１１月２２日から１２月４日まで、フクユタカを１２月８日から１２月１２日までの日程で実施しました。

収穫の状況については次のとおりです。

区 分		販 売		種子 更新	くず 大豆	総収穫量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	11.9ha	2等 12,600kg 3等 2,430kg	600kg	0kg	800kg	16,430kg
サチユタカ	13.8ha	2等 23,250kg	0kg	0kg	925kg	24,175kg
フクユタカ	12.3ha	1等 17,100kg 2等 2,910kg 3等 2,700kg	1,590kg	0kg	600kg	24,900kg
合 計	38.0ha	60,990kg	2,190kg	0kg	2,325kg	65,505kg

※野田市農政課より、小売りする大豆も検査を受けてから販売するよう指示がありました。

### ３）大豆種子栽培

種子用として、今年度から新規に「里のほほえみ」を０．５ヘクタールに播種しました。刈り取りは１１月２８日（月）に実施し、新たに購入した排風機付き穀物コンテナを使用し、熱を加えず乾燥調製を行いました。

区 分		販 売		種子	くず 大豆	総収穫量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
里のほほえみ	0.5ha	合格種子 720kg 合格準種子 30kg 2等 60kg	0kg	348kg	59kg	1,217kg

## ３ 農業関係施設の運営事業

### （１）野田市堆肥センター運營業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行いました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行いました。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、８月から１２月までの間は飼料用米の粳米を粉碎し、ＳＧＳ（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施しました。

### 搬入量

- １）剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・・・・・・約 ３，０３３トン
- ２）もみ殻回収量・・・・・・・・・・約 ８３０トン

#### 搬出・運搬量

- 1) 剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約 1, 8 5 3 トン
- 2) もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・・・・・・約 9 3 1 トン

#### 飼料用米粉砕加工（S G S）

- 1) 多収性品種米（加工量）・・・・・・・・約 1 3 6 トン
- 2) 一般品種米・・・・・・・・約 7 トン

#### （2）木野崎農業構造改善センター施設管理業務受託事業

構造改善センターは、地域の営農指導及び担い手の育成等を目的とした研修並びに地域住民の集会等に活用する施設であり、野田市から当施設の管理業務を受託し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら施設の運営を行いました。

施設の利用状況は、1 2 4 件（1, 0 9 4 人）であり、味噌づくり等に利用されました。

#### 4 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務受託事業

コウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うとともに、飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。

また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

コウノトリの繁殖については、よこはま動物園ズーラシアと秋田県大森山動物園から譲り受けた有精卵から雛 1 羽が孵化し 8 月に「はく」と命名され、このとりの里で放鳥が行われ、巣立ちました。

「はく」は、1 週間ほど江川地区に滞在し、その後全国各地への移動が確認されました。また、令和 3 年に放鳥した「リン」が江川地区に戻り、平成 2 7 年に放鳥した「ヤマト」と行動を共にする姿や巣でお互いに羽繕いをする姿が確認されました。

1 1 月には、兵庫県コウノトリの郷公園に預けていた「ミライ」がペアリングを終えて、このとりの里に戻りましたが、ペアのオスが衰弱し死亡が確認されました。

なお、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日までの、コウノトリ観察棟への入場者数（来館名簿記入者）は 3, 6 7 6 名でした。

#### 5 その他の受託事業

##### （1）小船橋水辺公園管理業務受託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できるよう施設管理を行いました。

園内の管理 受託面積 約 1. 3 ヘクタール	
除草・芝刈	芝生の刈り取りと雑草の除草作業を年 2 回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年 1 回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週 1 回実施

公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週 1 回実施
-------	----------------------

(2) 江川地区自然環境維持管理業務受託事業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) はきだし沼及び周辺の休耕地草刈業務受託事業

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの除草作業 3 回及び月 1 回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

(5) 尾崎地区保全業務受託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させるための除草業務を実施しました。

6 農業人材育成事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産した野菜は、人参、ネギ、枝豆、玉ねぎ、アスパラガス、里芋、ビーツを栽培し総収量 25,371.1 キログラムを市場及び市内直売所へ出荷しました。

7 補助金関係等

(1) 畑作物の直接支払交付金における面積払の交付金

(2) 水田活用の直接支払交付金

(3) 畑作物の直接支払交付金における数量払

(4) 大規模ブロックローテーション促進事業補助金

(5) 転作定着化促進事業補助金

(6) 病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金

(7) 野田市人材育成支援事業補助金

(8) 農産産地支援事業補助金

(9) 収入減少緩和交付金

(10) 損害防止事業補助金

(11) 肥料高騰対策補助金

8 取締役及び他の役員（第18期 令和4年度）

区 分	氏 名	備 考
代表取締役	今 村 繁	野田市副市長
常務取締役	木 全 敏 夫	
取 締 役	小 田 川 豊	野田市建設局長
取 締 役	宇 田 川 克 巳	野田市自然経済推進部長
取 締 役	伊 藤 敏 弘	船形事業所長
取 締 役	永 井 盛 雄	江川事業所長
取 締 役	小 林 弘 幸	総務責任者
会 計 参 与	秋 葉 芳 秀	税理士
監 査 役	濱 田 宏 志	税理士

9 株式の状況（令和5年3月31日現在）

（1）株主数・・・5名

（2）株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
千葉県野田市	6, 206株	99.9195%
木 全 敏 夫	2株	0.0322%
伊 藤 敏 弘	1株	0.0161%
永 井 盛 雄	1株	0.0161%
小 林 弘 幸	1株	0.0161%

## 10 経過概要

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜日	主 な 経 過 概 要
4月24日	日	江川地区水田型市民農園 田植え
4月25日	月	福田第一小学校・福田第二小学校 農業体験学習 田植え
5月5日	木 (祝)	アサヒビールイベント コウノトリグッズ販売ブース出店
5月10日	火	コウノトリの卵秋田動物公園から移送
5月11日	水	渡良瀬遊水地コウノトリの雛足環装着協力
5月12日	木	コウノトリ雛1羽目誕生
5月17日	火	福田中学校フィールドワーク協力 事前研修
5月20日	金	定時取締役会 野田市役所 議会棟 職員控室
5月23日	月	福田中学校フィールドワーク協力 江川地区現地
5月24日	火	船形事業所 大麦刈り取り開始
5月27日	金	定時株主総会 野田市役所 8階 大会議室
5月30日	月	臨時取締役 野田市役所 2階 中会議室
6月4日	土	小麦刈り取り開始
6月5日	日	江川地区水田型市民農園 草取り・自然観察会
6月6日	月	新潟大学 生物多様性研修 江川地区の取り組み説明 大正大学 市民農園草取り 江川地区の取り組み説明
6月7日	火	東京大学農学部フィールド科学専修 江川地区の取り組み説明
6月28日	火	小山市長こうのとりの里視察 鈴木市長対応
6月30日	木	コウノトリ推進協議会 レクチャールームで開催
7月12日	火	福田第一小学校・福田第二小学校 稲の観察・生き物調査
7月13日	水	コウノトリ一斉捕獲・足環装着
7月23日	土	江戸川河川事務所 田んぼの生き物調査体験会協力 江川事業所
7月24日	日	あおい空 自然塾 江川地区の取り組み説明
7月25日	月	江川地区水田型市民農園 ホタル観察会中止決定 コロナ第7波の影響でこの後の市民農園はすべて中止
8月3日	水	こうのとりの里 「はく」放鳥 飛び出しは5日
8月5日	金	福田中学校フィールドワーク協力 江川地区現地 野田市新人議員研修 こうのとりの里視察
8月25日	木	定時取締役会 書面決議
9月5日	月	福田第一小学校・福田第二小学校 農業体験学習 稲刈り
9月25日	日	利根運河の生態系を守る会 タカの渡り観察会 江川地区 64羽確認



10 月 14 日	金	J A 大規模営農組織協議会 船形事業所参加
10 月 20 日	木	大豆「里のほほえみ」現地研修会 船形事業所参加
10 月 26 日	水	鳥インフルエンザ対策 コウくん、コウちゃんケージ移動
11 月 6 日	日	ボーイスカウト北総地区ラリー協力 江川事業所
11 月 12 日	土	福田中学校フィールドワーク協力 江川地区現地
11 月 14 日	月	鴻巣市市長 こうのとりの里視察 鈴木市長対応
11 月 24 日	木	定時取締役会 野田市役所 8 階 大会議室
11 月 30 日	水	野田市 4 公民館合同セミナー 江川地区の取り組み説明
12 月 10 日	土	龍ヶ崎市で鳥インフルエンザ発生 観察棟周囲消石灰散布
12 月 15 日	木	インボイス制度説明会参加
1 月 23 日	月	J A 大規模営農組織協議会・齋藤法務大臣との意見交換会参加
2 月 1 日	水	令和 5 年度 江川地区水田型市民農園 受付開始
2 月 16 日	木	関東地方整備局 こうのとりの里視察
3 月 27 日	月	定時取締役会 野田市役所 議会棟 職員控室

第 1 8 期

# 決 算 報 告 書

令 和 4 年 4 月 1 日 から

令 和 5 年 3 月 3 1 日 まで

## 令和 5 年 3 月 31 日現在

[illegible]

損 益 計 算 書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

令和 4 年 4 月 1 日 から  
令和 5 年 3 月 31 日 まで

科 目		金 額			(単位：円)
I 売 上 高 農 産 物 売 上 高 業 務 受 託 収 入 市 民 農 園 収 入 作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入		21,521,742			
		115,241,062			
		195,006			
		73,459,600	210,417,410		210,417,410
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 価 市 場 等 出 荷 販 売 手 数 料 当 期 製 品 製 造 原 価 合 計 期 末 棚 卸 利 益		747,991	67,645		
			747,991		
			203,418,177		
			204,233,813		
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 営 業					
			51,232,991		51,232,991
					45,017,922
IV 営 業 外 収 益 受 取 補 助 金 収 入 一 般 取 配 当 金 収 入 雑 収 入			264		
			5,332,000		
			100		
			14,631,477		19,963,841
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息					
			32,630		32,630
VI 特 別 利 益 固 定 資 産 売 却 益 貸 倒 引 当 金 戻 益					25,086,711
			9,090		
			5,000		14,090
VII 特 別 損 失 固 定 資 産 売 却 除 却 損					
			2		2
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失					25,072,623
			322,049		322,049
					25,394,672

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで  
(単位：円)

科 目					金 額
旅				費	75,323
広	告	宣	伝	費	40,000
発	送	配	達	費	23,709
イ	ベ	ン	ト	費	305,034
役	員		報	酬	12,218,400
事	務	員	給	与	16,004,987
従	業	員	賞	与	2,029,000
法	定	福	利	費	5,327,068
厚		生		費	407,918
退		職		金	288,000
減	価	償	却	費	182,038
賃	借	料	・	リ	ス
修		繕		費	454,000
事	務	用	消	耗	品
通		信		費	1,924,303
水	道	光	熱	費	2,288,883
租	税	公		費	174,717
備	品	消	耗	品	課
管	理	諸		費	205,990
一	般	車	両	費	2,050,572
図	書	費	・	費	4,154,111
交		通		費	56,300
雑				費	4,091
合				計	411,009
					227,977
					51,232,991

棚卸資産の計算内訳

令和5年3月31日現在  
(単位：円)

科 目					金 額
農		産		物	31,472
原		材		料	60,480
未	収	穫	農	産	15,991,102
貯		蔵		品	7,606,898
合				計	23,689,952

製造原価報告書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額
I 材料費	初期材料	棚卸高		184,041
	種苗	費		3,835,037
	合計			4,019,078
	期末材料	棚卸高		60,480
	当期材料	費		3,958,598
II 労務費	賃金			62,926,046
	賞与			7,665,300
	退職金			210,000
	法定福利費			11,522,173
	厚生費			1,427,202
	当期労務費			83,750,721
III 経費	肥料・農薬衛生費			14,049,686
	外注作業費			90,764
	電力費			3,580,947
	軽灯油等燃料費			11,640,458
	運賃			93,500
	減価償却費			19,548,323
	修繕費			24,469,909
	租税公課・負担金			1,323,880
	賃借料・リース料			18,612,308
	共済掛金・保険料			1,035,630
	諸資材費			10,113,448
	農具費			550,398
	交通費			1,701,967
	図書費・研修費			626,120
	車両関係費			2,737,164
	土地改良費・水利費			2,084,509
	雑費			844,824
	当期経費			113,103,835
	当期総製造費用			200,813,154
	期首農産物等棚卸高			18,596,125
	合計			219,409,279
	期末農産物等棚卸高			15,991,102
	当期製品製造原価			203,418,177

## 第 19 期 事 業 計 画

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

また、水田型市民農園につきましては、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け全面的に中止となり、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、田植えと草刈り以外の行事を中止としました。

令和5年度は野田市の各種行事の開催方針等を考慮し、感染状況を見極めた上で安全対策を行い、水田型市民農園を開催いたします。

ただし、感染拡大の状況により、やむを得ず一部のスケジュール変更や、全面的な中止も検討します。

船形地区においては、引き続き麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

次に、農業人材育成支援事業においては、人参・枝豆・ネギを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

続いて、野田市からの委託事業として、堆肥センター運營業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務、木野崎農業構造改善センターの施設管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定した経営を目指してまいります。

### 1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く、作付けが困難な状況の場所がありますが、引き続き圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

#### (1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

1) 作業内容 除草作業・水路の整備作業・均平整地作業・畦畔整備作業

#### (2) 水稻生産

1) 生産目標面積 約5.0ヘクタール（市民農園圃場含む）

2) 目標収穫量 約10トン

#### (3) 水田型市民農園の実施（コロナ感染状況により実施可能な場合）

面 積 約2.1ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500区画（500名）

オーナー型 40区画（1区画5名から15名まで）

(4) エコロジカルネットワークへの取組み

- 1) コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 2) 水路整備（魚道整備含む）
- 3) 里地里山の保全

(5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書に基づき、生物多様性が保全された江川地区を実現し、これを将来に渡り維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため必要な業務を実施してまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
令和5年産麦生産目標 (令和5年6月収穫予定)	作付面積 大麦（カシマムギ） 小麦（さとのそら） 目標収穫量 大麦 小麦	59.3ヘクタール 10.6ヘクタール 48.7ヘクタール 142トン 28トン 114トン
令和6年産麦生産目標 (令和5年11月播種予定)	作付面積 大麦（カシマムギ） 小麦（さとのそら）	70.5ヘクタール 10.5ヘクタール 60.0ヘクタール
令和5年産大豆生産目標 (令和5年12月収穫予定)	作付面積 タチナガハ フクユタカ サチユタカ 里のほほえみ 里のほほえみ（種子） 目標収穫量 タチナガハ フクユタカ	43.9ヘクタール 8.4ヘクタール 18.2ヘクタール 14.1ヘクタール 2.7ヘクタール 0.5ヘクタール 57.8トン 12.0トン 22.0トン



	サチユタカ	19.0トン
	里のほほえみ	4.0トン
	里のほほえみ（種子）	0.8トン

## （２）枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、令和５年度も枝豆オーナー制度に関わる農園を継続して開設いたします。

## ３ 農業関係施設の運営事業

### （１）野田市堆肥センター運營業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、もみ米SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業の協力も含め、令和５年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

### （２）木野崎農業構造改善センター施設管理業務受託事業

木野崎農業構造改善センター運営管理業務仕様書に基づき、令和５年度も継続して受託しようとするものです。

## ４ その他の受託事業

### （１）小船橋水辺公園管理業務受託事業

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行っていました。

令和５年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園 内 の 管 理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈り取り	年２回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年１回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週１回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週１回

### （２）はきだし沼及び周辺の休耕地草刈業務受託事業

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について令和５年度も継続して受託しようとするものです。

### （３）関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの管理業務につきましては、年3回の草刈り及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、令和5年度も継続して受託しようとするものです。

#### (4) 尾崎地区保全業務受託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させることを目的に尾崎地区保全業務を令和5年度も継続して受託しようとするものです。

#### 5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務受託事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについては毎年幼鳥が孵化し、8年連続で放鳥するなど順調に飼育管理をしてまいりました。

また、施設の展示物について、展示内容や展示方法を工夫するなど展示の充実を図るとともに、コウノトリの生息環境や生態についての普及啓発に努め、令和5年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

#### 6 農業人材育成事業

農業人材育成事業につきましては、新規就農者の育成のほか、農業後継者等の担い手の農業機械の取扱い指導や農機オペレーターも育成する事業として実施しておりますので、補助金を活用し、令和5年度も継続して事業を実施しようとするものです。

第 19 期 予算

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日 単位：千円

収 入				支 出					
項 目		予 算 額		項 目		予 算 額			
		第18期	第19期	比較			第18期	第19期	比較
1 農業生産売上		47,527	50,971	3,444	1 農業製造原価		216,496	222,307	5,811
(1)	水稲売上	2,000	1,700	-3,000	(1)	材料費	3,000	4,244	1,244
(2)	麦売上	3,000	4,000	1,000	(2)	労務費	33,260	33,428	168
(3)	大豆売上	7,000	7,000	0	(3)	農業経費	58,019	59,062	1,043
(4)	市民農園売上/枝豆売上	618	618	0	①	肥料費・農業衛生費	20,881	22,041	1,160
(5)	経営所得安定対策等（国）	34,909	37,653	2,744	②	電力費	1,397	1,430	33
2 農業受託売上		131,508	134,416	2,908	③	軽灯油等燃料費	4,000	4,000	0
受託業務	① 小船橋水辺公園管理	1,563	1,564	1	④	修繕費	3,300	3,300	0
	② 自然環境維持管理業務	6,400	6,400	0	⑤	賃借料・リース料	1,320	1,320	0
	③ 堆肥センター運営業務	102,804	104,018	8,215	⑥	共済掛金・保険料	1,930	1,930	0
	④ 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	1,300	1,300	0	⑦	麦団地賃借料	18,146	18,000	-146
	⑤ 休耕地草刈等	1,066	1,174	108	⑧	土地改良費・水利権	2,085	2,085	0
	⑥ コウノトリ飼育等委託業務	17,409	19,059	1,650	⑨	その他	4,960	4,956	-4
	⑦ 冬期湛水水田管理委託	600	534	-66	(4)	小船橋水辺公園	1,483	1,484	1
	⑧ 関宿落堀ビオトープ管理業務	366	367	1	(5)	自然環境維持	5,970	5,970	0
					(6)	堆肥センター	96,896	98,576	1,680
					(7)	休耕地草刈等	1,008	1,116	108
3 補助金収入		30,106	26,965	-3,141	(8)	コウノトリ飼育等	16,513	18,079	1,566
(1)	県補助金	9,141	6,000	-3,141	(9)	関宿落堀ビオトープ	347	348	1
(2)	市補助金	0	0	0	2 販売及び一般管理費		30,508	36,699	6,191
(3)	農業人材育成事業	17,075	17,075	0	(1)	木野崎農業構造改善センター運営管理業務	1,300	1,300	0
(4)	転作定着化促進事業	0	0	0	(2)	人件費等	23,007	28,857	5,850
(5)	地上防除奨励金・薬剤購入補助金	3,890	3,890	0	(3)	その他	6,201	6,542	341
4 雑収入		13,800	23,961	10,161					
補償料等（線下保障等）		13,800	13,800	0					
農地売却内金		0	10,161	10,161					
小計		222,941	236,313	13,372	小計		247,004	259,006	12,002
					3	就農支援事業費	17,075	17,075	0
5 資本金・資本準備金		64,066	65,768	1,702	4	退職金積立金	468	579	111
					5	機械等購入費	22,460	18,606	-3,854
					6	農地取得費	0	6,815	6,815
小計		64,066	65,768	1,702	小計		40,003	43,075	3,072
合計		287,007	302,081	15,074	合計		287,007	302,081	15,074